



# 西徳寺だより

3月号

Vol.148

## 春季彼岸法要のご案内

新型コロナウイルス感染拡大を懸念して、西徳寺ではこの三年間、法要の日程を短縮して勤めて来ましたが、そんな中、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけについて、政府は今年の五月八日に五類に移行する方針を決定しましたので、この度の春季彼岸法要まで短縮日程でお勤めし、以降は以前の形式に戻すことと致します。

お彼岸の中、墓地・納骨堂だけでなく、本堂の法要で皆様とお会い出来ますことを心から待ちしております。

・日時 三月九日(木) 昼座

十日(金) 昼座

十一日(土) 昼座

※昼座 午後一時三十分より三時まで

・講師 嘉麻市 西郷寺 田中了彩師



## 永代経法要のご案内

「永代経法要」とは、今までに亡くなられた全ての人々をご縁として、今を生きる私たちが、永代にわたって阿弥陀様のみ教えを聴聞し、受け伝えていくために開かれる、私たちのための法要です。

この法要より、法要形式をコロナ以前の形に戻して朝座とお齋を再開致します。ただしマスクは着用下さい。皆さんと一緒にゆっくり、そしてしっかりと聴聞出来ますこと楽しみにしております。

・日時 五月十一日(木) 昼座

十二日(金) 朝座・お齋・昼座

十三日(土) 朝座・お齋・昼座

※朝座 午前十時 より 正午まで

※昼座 午後一時三十分より 三時三十分まで

・講師 山口県下関市 西覚寺 寺田教昭師

令和五(二〇二三)年三月発行 編集発行 篠田尊徳  
 〒八二二〇〇三四 福岡県直方市山部五四〇  
 浄土真宗本願寺派 覺音山 西徳寺  
 TEL 〇九四九二二〇六三六 HP <https://saitokuji.net>  
 FAX 〇九四九二二〇六六七 MAIL [saitoku@oce.ocn.ne.jp](mailto:saitoku@oce.ocn.ne.jp)



## 長男「釋香徳」、直方に帰ってまいります

私どもの長男 釋香徳シヤクカウトクがこの度の春彼岸のお参りから直方に帰って来ることとなりました。

大学進学を機に直方を離れて丸六年。京都 龍谷大学や大阪 行信教校で浄土真宗の勉強をしておりましたので、すぐにバリバリお参りやお説教となれば有難いのですが、学校と現場は全く違うというのが現実でしょう。

私たちは「お育ていただく」という表現を致しますが、私自身もご門徒さんに色々我慢していただいてお育ていただきました。

長男もまだまだ至らぬ点が多いとは存じますが、どうぞ温かい眼差しの中でお育ていただけましたら幸いです。

本人から次号の『西徳寺だより』で改めてご挨拶させていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。

## 納骨堂のお掃除とお荘厳について

西徳寺各納骨堂の春季彼岸前後のお掃除を左記の日程で行います。作業時間は一時間程です。どうぞご協力をお願いします。

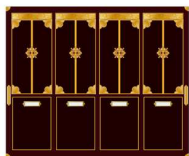
・春季彼岸前のお掃除とお荘厳

三月七日(火) 午前十時より

・春季彼岸後の片付け

三月二十七日(火) 午前十時より

※納骨堂のカギは三月十六日～二十七日まで、いつでもお参り出来るよう開けておきますのでどうぞお参り下さい。



## 親鸞聖人降誕会のご案内

降誕会こうたんえとは、浄土真宗の開祖 親鸞聖人しんらんしょうにんのお誕生をお祝いし、感謝する法縁です。

本堂の降誕会こうたんえは五月二十一日(旧暦四月一日)ですが、西徳寺には「桜」という宝物がありますので、毎年少し時期を早めて桜の下での「お花見降誕会はなみこうたんえ」とさせていただきます。

親鸞聖人のお誕生は一一七三(承安三)年、つまり今年御誕生八百五十年という節目の年でありますので、コロナウィルスのため三年間中止しておりましたお花見・宴席を再開して降誕会こうたんえをお祝いしたいと考えております。

四月とは言え、例年まだ肌寒い時節ですので本堂にて勤行・ご法話の後、そのまま本堂内での宴席。その後、希望者は鐘撞堂かねつきどう横の桜の下にブルーシートを出して二次会という流れだったと記憶しております。久しぶりに皆さんと大いに語り慶び合える降誕会こうたんえを楽しみにしております。

・日時 四月五日(日) 正午より

※四月四日(月)の壮年会例会は降誕会に合流させて頂きます。



### 絵手紙教室のご案内

「ヘタでいい、ヘタがいい」が合言葉。

皆さんのご参加をお待ちしております。

・講師 直方市感田 油布 紀美子先生

・場所 西徳寺門信徒会館

・会費 五〇〇円を参加した時だけ

・第二百五二回 三月二十四日(金)

・第二百五三回 四月二十七日(木)

午後一時三〇分より

三時三〇分まで



### 「春の念仏奉仕」お願い致します。

念仏奉仕とは西徳寺境内地の美化作業で、春・秋の年二回お願いしております。

掃除道具はお寺で準備しますが、使い慣れた道具や草刈り機などお持ちの方はご持参頂けますと助かります。

なお、近年お手伝いの人数が減少傾向のため、昼食はお弁当を取りますので、今まで昼食を担当して下さいました婦人会の皆さんも清掃のお手伝いに回して下さい。

どうぞ、ご協力の程よろしくお願いいたします。

・日時 五月二日(火) 午前九時より 正午まで

※雨の場合は三日(水)に延期となります。



### 「納骨堂維持費」と「門信徒会費」の納入について

年度替わりを迎えて、毎年問い合わせがあります「納骨堂維持費」と「門信徒会費」の納入についてお知らせいたします。

毎年、「納骨堂維持費」の振込用紙が四月中旬頃、「門信徒会費」の振込用紙が五月上旬頃お手元に届いていると思います。

「納骨堂維持費」振込用紙が届いてすぐ維持費をご持参下さった方が、半月後に「門信徒会費」振込用紙が届いて再度お寺に足を運んで下さって一緒に届けてもらわないと二度手間て困ると言われるのですが、管理が別組織で一緒にお届けするのは難しい状況です。もし両方ご持参下さる方は「門信徒会費」振込用紙が届くのを待ってからご来寺いただけましたら大変助かります。ご理解の上ご協力をお願いいたします。

### 西徳寺三納骨堂 加入者追悼法要のお知らせ

西徳寺納骨堂光明殿・智慧殿・清浄殿の定期総会について。

コロナ禍で三年間中止していましたが、今年度より加入者追悼法要という形で再開させていただきます。

・光明殿追悼法要 五月十六日(火) 十時より

・智慧殿追悼法要 五月十七日(水) 十時より

・清浄殿追悼法要 五月十八日(木) 十時より

納骨堂加入者の方には改めて詳細なご案内をお出し致します。

「西徳寺寄席」開催いたします

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが五類に移行するのを受けて、少しずつ西徳寺の行事をコロナ前の形に戻していく予定ですが、ただ戻すだけでなく、何かイベントをしたいと考えておりましたら、知り合いのお寺さんから落語会のお誘いをいただきました。そこで「西徳寺寄席」の開催です。

お越し下さるのは三重県四日市市出身の上方落語家 三代目林家 菊丸師匠です。

昨年十月の「笑点」には故 六代目三遊亭



円楽師匠の代理として出演されていましたので、ご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。また昨年十二月には文化庁芸術祭賞(大衆芸能部門)大賞を受賞されております。

コロナ禍の中で、人と話すこと、笑うことの喜びを忘れかけていた皆さん、西徳寺寄席で大いに笑いを取り戻しましょう。

西徳寺本堂が皆さんの笑い声で満たされることを楽しみにしております。(今のところマスク着用をお願いする予定です。)

・日時 六月十八日(日) 受付 十時

開演 十時三十分

休憩を挟んで正午まで二席

・木戸銭(入場料) 無料

親鸞聖人御誕生八百五十年  
立教開宗八百年慶讃法要

慶讃法要が始まります

京都西本願寺で三月二十九日(水)〜五月二十一日(日)まで、五期三十日間、表記の法要が勤まります。期間中、住職も坊守も時期を分けてご門徒方と参拝します。

考えてみれば親鸞聖人関係の次の大法要は三十九年後の八百回大遠忌。その時私は九十二歳。おそらく最後の親鸞聖人関係の大法要のご縁となるでしょう。心してお参りして来ます。

おわりに

思い返すと三年前、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて生活の規制が始まった時、マスクをするしないでケンカが頻発しました。今、だんだんと規制緩和の動きが出てきましたが、緩和されたらされたで、また同じようにマスクをするしないでケンカが起こるのではないかと懸念しています。これ一見、コロナウイルスが原因でケンカしているように見えますが、冷静に考えると原因は自分は絶対に間違っていないという自己中心性にあることが分かります。

間もなく「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」が始まりますが、このご縁に遇うことによって、人間の持つ自己中心性は親鸞聖人がお生まれになった八百五十年前も、令和の今も、そして何百年、何千年先も全く変わることが無いという事実を確認させて頂けるのではないかと考えております。◎